

COSMO LETTER

COSMOBEAUTY MONTHLY ISSUE

COSMOBEAUTY

株式会社コスモビューティー
http://www.cosmobeauty.co.jp

We are Cosmo Beauty Co., Ltd. for OEM manufacturing of cosmetics or others. We manufacture cosmetic and quasi-drug products in great varieties from industrial use to personal use.

Vol. **20**
JULY, 2022
6月・7月合併号

NEWS & TOPICS

新たな試み、イベント情報など新着トピックスを発信します！

神戸工場稼働しました

(株)コスモビューティー神戸工場が神戸市中央区ポートアイランド地区に5月に完成

5月16日から神戸工場が稼働開始、国内では大阪工場、関東工場に次いで3拠点目の生産拠点となります。敷地面積は4,950㎡(1,500坪)延床面積3,287㎡(996坪)の多品少量生産に対応出来る充填包装に特化した工場となります。

これまで関東工場に生産が集中していましたが、今後はBCP(事業継続計画)の為に西日本エリアに新たな生産拠点を置くことで安定供給をより強固にします。また立地も大阪工場からも近く、神戸空港、神戸港、新神戸駅、充実→包装→製品保管→出荷とワンフロアで完結出来る、無駄のない動線が取れているのも特徴です。生産部分は充填包装室内含わせ長さ4mあり今まで細かな作業は別工程などで対応していましたが距離がある分、一連で作業が出来ることにより効率的な作業も出来る様になりました。

神戸工場は、元々の医薬品生産工場を居抜きで購入し、医薬品生産工場の利点となる構造部分と動線を残し一部内装は当社仕様で改装しております。入荷→保管→充填→包装→製品保管→出荷とワンフロアで完結出来る、無駄のない動線が取れているのも特徴です。生産部分は充填包装室内含わせ長さ4mあり今まで細かな作業は別工程などで対応していましたが距離がある分、一連で作業が出来ることにより効率的な作業も出来る様になりました。



同工場では既存の大阪工場、関東工場同様に充填包装ライン及び主要ポイントに録画ライブカメラを設置。管理者がリアルタイムでモニタリングする事でトラブルの未然防止や万が一トラブル発生時にも映像をトレースすることで原因解析等を行えるようになってます。更に異種品混入対策、付属品梱包、ロットナンバー、バーコード管理、容器方向規制の確認等々にカメラを設置しており、全数検査を行いオペレーターの目視と併せて対策を行っています。

充填室が陽圧になる様に空気の流れを制御し気圧の変化をつけることで埃や虫が侵入しにくい空間設計にしています。また外部と接している製品資材倉庫搬入口にはインターロック制御を

しているシートシャッターを設けて最大限に虫などの侵入を防御出来る様に設計しており、また、製品資材ハルク保管倉庫は空調で温度管理を行なっております。ロッカー室、食堂休憩室なども充実させ、工場入室する際、待ち時間削減する為、長さ5mのエアシャワーを導入し従業員が働きやすい環境にも配慮しました。

また、神戸工場に隣接する7,261㎡(2200坪)の土地に投資額100億円を投じ2025年中に延床面積21,120㎡(6,400坪)の生産工場建設を計画。東西生産拠点を分散し安定供給を継続して行く、またお客様のご要望に柔軟に対応する為に新工場建設を計画しており、これまで当社で培ってきた製造技術を最新鋭の設備を導入し更なる生産効率を図るとともに、技術、経験を活かし安全性に優れた「良い化粧品製造」を生産出来る工場を目指したいと思っております。

(大阪工場:公庄一博)

神戸市中央区とはどんな所なの？

中央区は神戸市市街地の中心部に位置し北は六甲山、南は国際貿易港である神戸港、ポートアイランドといった海と山に挟まれた美しい街並みです。全国的に有名な日本三大夜景が見れるスポットがあり異人館地区、中華街などの繁華街も沢山あり神戸ハーバーランドといった近年開発された観光商業施設に加えポートアイランドの産業、学術、医療など多様な側面が混在している所です。



充填包装ライン



食堂休憩室



男性ロッカー室

永年勤続表彰

7月1日に永年勤続表彰が執り行われ、こちらのみなさんが表彰されました！

7月1日、本年度の永年勤続表彰が各拠点で執り行われました。山添社長から、これまでの出来事を交え、皆さんに感謝のお言葉を頂きました。30年を迎えられた森脇さん、平光さんには個別に昔のエピソードをお話され、コスモビューティーの歴史を感じる瞬間がありました。皆さん、これからもよろしくお願いします！



勤続 **30年** 社員 **2名**



勤続 **20年** 社員 **4名**



勤続 **10年** 社員 **10名**

人事採用 高校訪問

2023年春卒業予定の高校生採用に向けて～全国各地の「就職情報名刺交換会」に参加～

来春卒業予定の高校生採用活動の一環として、全国各地で開催された「就職情報名刺交換会」に参加しました。この交換会は採用コンサルティング会社が毎年5～6月に開催しているもので、1会場あたり高校側と企業側それぞれ20校社程度が参加。企業側にとっては、7月の高校生採用求人解禁に先立ち、各校の就職支援担当の先生方に自社の採用計画の説明とアピールを直接行うことが出来る場となっています。今年度の交換会は北は青森から南は沖縄まで全国14カ所で開催され、当社からは人事部寺野さんのほか、山添社長、関東工場萩野さん、経営企画室中川が手分けして参加しました。会場には化粧品OEMという当社の事業を一目で理解してもらうよう実際の商品サンプルを持参したほか、単身寮にテレビや布団等の生活用品を用意していることを写真付きのパネルで説明するなど、短い時間の中で相手の印象に残るプレゼンとなるよう工夫し、先生方からも好評でした。今回お

会いた高校にはお礼状に加えて個別に求人との連絡を行う等の丁寧なフォローを実施し、実際の輪旋に繋げていきたいと思います。今後も全国の高校への一斉での求人連絡、個別校への訪問、オンラインでも活用した個別説明など、あらゆる手段を使って高校生の採用活動を進めます。当社の今期(38期)のキーワード「組織固め」にとって、優秀な人材の確保はまさにその要です。高校生に限らず、採用活動全般への全社の皆さんの理解とご協力を、引き続きよろしくお願い致します。(経営企画室:中川 忠洋)



秋田県:スポーツが盛んな有名な高校、金足農学校も参加していました。

コスモビューティーは、神戸市ポートアイランドにあるチャイルドケモハウスの活動に賛同し、神戸市企業版ふるさと納税を通じて寄付をしました。

今回はチャイルドケモハウス(愛称チャイケモハウス)の運営団体チャイルドケモサポート基金の代表の堀内正美氏をお迎えし山添社長、西川会長、阿尾相談役とでお話しを伺いました。

堀内さんは阪神・淡路大震災の直後に「がんばろう!!神戸」を立ち上げられ、また2年前からはチャイルドケモサポート基金の代表をされていますが、どういう思いで活動されているのでしょうか。

堀内氏: 阪神・淡路大震災の時、私は神戸にいて、家族を亡くした多くの方を目の当たりにしました。家族や大切な人を失った悲しみというのは、誰かが癒せるようなものではなく、ただ寄り添ってほしいのです。でも心も復興していかなければならない。がんばればではなく、がんばろう!!神戸。みんなで頑張っていこうという思いで発信しました。もちろん今もその活動は続いていて、今回コスモビューティー様にはふるさと納税を通じて認定特定非営利活動法人阪神淡路大震災「17希望の灯り」にも寄付いただきました。ありがとうございます。そして「がんばろう!!神戸」の活動を通じて、震災だけでなく、災害はもちろん、事件、事故、病気で家族をなくされた方がたくさんいらっしゃる(年間130万人以上が亡くなっている)ことを知り、その方々への寄り添いから、小児がんや難病のご家族と出会い、チャイルドケモサポート基金の代表を引き受けました。チャイケモハウスは小児がんや難病治療でポートアイランドにある病院にきている子どもたちと家族のための宿泊滞在施設です。入院治療は、数か月から1年に及びます。その間、家族がバラバラの生活になり、きょうだいさん達とおじいちゃん、おばあちゃんもなかなか会うことができません。親御さんは治療中の子どものこと、家に残してきているように家族のことなど二重生活になり精神的な不安と遠方からの交通費や生活費など経済的にも大きな負担を抱えています。子どもたちの入院中の家族の滞在先も課題でした。ある親御さんは子どもの入院治療中は車で寝泊まりして、食事もカップラーメンやコンビニのおにぎりですとおっしゃっていました。これでは家族も倒れてしまう。チャイケモハウスはそういったことを解決とはいきませんがサポートできる施設を目指しています。治療中、特に抗がん剤治療の子どもたちの感染症予防に第一に考え運営しています。

山添社長: 未来を担う子どもたちの支援にさらに協力していきたいと思っています。実際に子ども食堂の運営や、地域の子ども食堂への支援なども始めており、持続的な社会的な実現に向けて、今後もいろいろな形の支援に取り組みしていきたいですね。



チャイケモハウスは小児がんや難病の子どもたちと家族に寄り添い、家族一緒に時間を過ごせるように、自宅とくつろいでいるような環境づくりを目指しています。



チャイケモハウスは家族で滞在していただけるファミリータイプのお部屋を19部屋用意しています。どの部屋も1日の滞在費用は1000円。簡易ベッドではなくゆったりと休めるベッド、各部屋にキッチン、お風呂、トイレ、洗濯機なども完備しています。もちろん食卓テーブルもあり、自宅と同じようにテーブルで食事ができます。公園のようなプレイルームが施設の真ん中にあり子どもたちが走って遊ぶようになっています。看護師・保健師・自立支援相談員・経験者といった支援スタッフがあります。チャイケモハウスはすべて寄付だけで運営しています。

堀内氏: 私は西川会長と知り合って古いのですが、最初に西川会長がおっしゃっていたことがとても印象に残っています。それが「床」のお話です。「会社を大きくするのは経営者ではなく、製品を買ってくれるお客様、製品を作るために原料を提供してくれる会社様、製品開発する研究員、製造、充填、品質管理、営業など多くの従業員が、コスモビューティーという床の上で頑張ってくれる。僕たちが経営者は従業員が安心して働ける床をつくる管理人なんです」

阿尾相談役: 企業は社会的な役割を果たす義務があります。おかげさまでコスモビューティーは、仕入れ先様はじめいろいろな取引先様、そして従業員のがんばりでここまでの会社に成長しました。利益を出すのはもちろんですが、ただ利益を追求するのではなく社会的な役割、つまり社会貢献しなければ、これから先、さらなる飛躍はないと思っています。今後も堀内さんの活動をはじめ、いろいろな団体の活動にも積極的に支援を続けていきたいと思っています。

西川会長: 私はそんなに大それたことは考えていません。ただ子どもたちのために何かしたい...そんな思いで、私たちができることをやっているんです。病気の子ども、その家族、忙しい親御さんやその子ども、家に食事のない子ども、孤食の子ども...みんないろいろな事情を抱えています。私たちの会社ができることはほんの小さな

きっかけに過ぎませんが、少しでも誰かの助けになるのなら幸いだと思います。堀内さんの活動にも共感しています。大変な役割でご苦労もあると思いますが、すばらしいことです。私たちの会社も堀内さんの床づくりの一端を担えればと思っています。



左から西川会長、堀内さん、阿尾相談役、山添社長

堀内正美氏
兵庫県神戸市在住。
伊保、公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金の代表。
過去には認定特定非営利活動法人阪神淡路大震災「17希望の灯り」設立、東日本大震災の「たすきプロジェクト」設立。
現在公開中の映画「シンウルトラマン」では官房長官役で出演中。

チャイルド・ケモ・ハウス (愛称:チャイケモ)
child chemo house
http://www.kemohouse.jp/

メディコス製薬が大阪府スマートシニアライフ事業に寄付し、大阪府知事より感謝状が贈呈されました。

2022年6月23日に大阪府庁に於いて、大阪府スマートシニアライフ基金知事感謝状贈呈式が執り行われ、メディコス製薬株式会社の阿尾会長、西川社長が出席し、吉村知事から感謝状をいただきました。大阪スマートシニアライフ事業は、高齢者がいきいきと健康で便利に生活できるよう、高齢者の生活を支援するサービスプラットフォームを公民共同で構築し、タブレット等のデジタル端末を活用することにより、行政と民間の様々なサービスをワンストップで提供する事業です。(寄附金額:1500万円)



左から西川社長、吉村知事、阿尾会長

大阪府HP: https://www.pref.osaka.lg.jp/chiki_seniryaku/smart_senior_life/index.html

神戸市に寄付しました

- 企業版ふるさと納税を通じて神戸市に寄付をしました。
 - 神戸医療産業都市推進事業 (600万)
 - 神戸医療産業都市公益事業推進寄附金事業(公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金) (300万)
 - 認定特定非営利活動法人 阪神淡路大震災「17希望の灯り」 (100万)

子ども食堂への寄付

NPO法人西成チャイルド・ケア・センターが運営している、にしなり子ども食堂へ食料寄付へ行ってきました。代表理事の川辺さんが10年前に子どもたちの居場所づくりとして立ち上げられました。一人ぼっちの子どもや孤立した家庭のない地域を作る事を目的に子ども食堂だけでなく様々な活動をされています。当社も支援しています。



左から西川会長、川辺さん、奥野恵さん

チャイケモハウス訪問・寄付

2022年6月27日(月)、神戸市中央区ポートアイランドにあるNPO法人チャイルド・ケモ・ハウスへご訪問させていただきました。代表理事の堀内正美さんに館内案内と活動内容の説明をしていただき、病気の子どもたちと、そのご家族のためのサポート活動を一人でも多くの方に知っていただきたいと思いました。



子ども食堂の運営

芦屋市にあるコスモビューティーの福利厚生施設で4月から始まった子ども食堂も6回目終了、チラシの反響・口コミでお弁当を取りに来られる方が少しずつ増えてきました。ボランティアの方々も手際よく手伝ってくださりとても助かっています。子どもたちの支援を目的としてこれからも継続して活動をしていきます。



(SNS担当:原田 宏子)

SNS 活動報告

Facebook、Instagramなどソーシャルメディアは伸長を続けています。日本国内でのニュースではユーザーの数が緩やかに増え続けているFacebookですが、それでは全世界では20億人(2017年)を超えるユーザーを獲得しています。ソーシャルメディアとビジネスの観点で見ると、米国の企業の約4割がソーシャルメディアを活用して新規顧客の獲得をしており、5割の企業がTwitterを利用して顧客とコミュニケーションを取っていると

いう報告もあります。今は、スマホやタブレットなど場所を選ばずインターネットにアクセスできる環境が当たり前な時代です。SNSで情報を発信することで、興味を持っていただいたお客様と即座に関係性を持ち構築していくことが可能です。SNSは私たちが繋がりたい人たちに、人たちが共

facebook Twitter Instagram

コスモビューティー 子ども食堂 アミューズメントクラブ芦屋

コスモビューティー 子ども食堂 アミューズメントクラブ芦屋

コスモビューティー 子ども食堂 アミューズメントクラブ芦屋

コスモビューティー 子ども食堂 アミューズメントクラブ芦屋

ぜひフォローしてください!